

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月12日

上場取引所 JQ

上場会社名 日本サード・パーティ株式会社

コード番号 2488 URL <http://www.jtp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森 和昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 高島 隆明

TEL 03-3524-0511

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	4,459	—	△92	—	△97	—	△80	—
21年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△1,457.62	—
21年3月期第3四半期	—	—

(注)平成22年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値及び対前年四半期増減率については、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年3月期第3四半期	3,673	—	2,260	—	61.5	41,170.33
21年3月期	—	—	—	—	—	—

(参考)自己資本 22年3月期第3四半期 2,260百万円 21年3月期 1百万円

(注)平成22年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前期の数値については、記載しておりません。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	2,000.00	2,000.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	2,000.00	2,000.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	—	210	—	200	—	110	—	1,981.38

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 60,156株 21年3月期 60,156株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 5,253株 21年3月期 3,511株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 55,517株 21年3月期第3四半期 58,854株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、当第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、対前期及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日）における我が国の経済は、企業の生産活動は増加基調となり、輸出が増加するなど一部で景気の持ち直しがみられるものの、総じて雇用や所得環境の悪化、設備投資の抑制と依然先行き不透明な状況が続いております。当社グループが属する情報サービス産業においては、企業業績悪化や設備過剰感の高まりの影響で、顧客の情報関連投資は抑制されており、また、顧客からのサービス・サポート料金もアジア各国のレベルと競合する価格要求の高まりなどビジネス環境は依然厳しい状況にあります。

当社グループはこのような状況変化に対し、従来のハード・ウェアの保守・アフタサービスのビジネスモデルから脱却すべく、今まで蓄積してきたバイリンガル・マルチ知識を基とした社員の育成に積極的に投資し、IT保守コスト外部監査事業及び来るクラウドコンピューティング時代におけるセキュリティ・プロフェッショナル育成事業を推進いたしております。また社内においても市場変化に対応すべく経営資源の再配分と人材の再配置を行ってまいりました。そしてその成果は今年度の累計損益で黒字化するまでには至っておりませんが、この第3四半期から徐々に収益に貢献するようになってきております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,459,885千円となり、利益面では92,756千円の営業損失、97,256千円の経常損失、80,922千円の四半期純損失となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

①ソフトウェア・ソリューション事業

教育部門において、従来の単一技術研修の需要は減少し、マルチ知識の技術研修へと市場ニーズは変化しております。この様な時代の変化をとらえ、2010年1月に国内最大級の品川クラウドコンピューティング教育センターを開設いたしました。当第3四半期連結累計期間においては、単一技術受講者数の落ち込みを新規技術受講者数で補うまでには至りませんでした。また、ソフトウェア開発部門においても、半導体市場の急激な冷え込みにより依然、厳しい状況が続いております。ヘルプデスク・コールセンター部門においては、海外メーカからの業務一括受託により売上の拡大を行っておりますが、当第3四半期連結累計期間においては、業務立ち上げに係る人件費及び外注費が予定をオーバーしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,745,494千円、営業損失は199,151千円となりました。

②フィールド・ソリューション事業

コンピュータ・システム部門において営業サポート業務やITベンダのシステム増設等にもなるネットワーク工事受託量の増加を図りました。IT応用システム・サポート部門においては、医療機器の保守、設置業務について、引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,029,525千円、営業利益は291,024千円となりました。

③ハードウェア・ソリューション事業

インテグレーション・サポート部門においては、当社の受託しているメーカのサーバ出荷量が減少したことともない、当社の業務受託量も減少しております。しかしながら、当第3四半期連結会計期間以降につきましては、メーカからの一括アウトソーシング業務を受託したことにより、今後売上高は増加する予定であります。また、リペアセンター部門は、当第3四半期連結累計期間において、輸入機器の検査業務の拡大を図りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は643,570千円、営業利益は154,618千円となりました。

④その他の事業

国内子会社であるデータ・エントリー・ソリューション株式会社によるデータエントリー業務は、業務受託量の減少及び一時的な費用の発生により、当第3四半期連結累計期間の売上高は41,295千円、営業損失は4,900千円となりました。

(注) 当第3四半期連結累計期間は連結初年度に当たるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度の記載は行っておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産・負債・純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,673,811千円となりました。

流動資産につきましては2,801,711千円となり、主な内訳は、現金及び預金1,499,356千円、受取手形及び売掛金980,553千円であります。

固定資産につきましては872,100千円となり、主な内訳は、有形固定資産218,512千円、無形固定資産162,775千円、投資その他の資産490,812千円であります。

負債合計につきましては1,413,437千円となりました。

流動負債につきましては758,629千円となり、主な内訳は、買掛金144,607千円、賞与引当金111,189千円であります。

純資産につきましては2,260,374千円となり、主な内訳は、資本金795,475千円、資本剰余金647,175千円、利益

剰余金1,092,600千円、為替換算調整勘定(借方)5,403千円、自己株式269,473千円であります。

(注) 当第3四半期連結累計期間は連結初年度に当たるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度の記載は行っておりません。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は(以下「資金」という。)1,497,414千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果、得られた資金は89,838千円でありました。これは、主として売上債権の減少231,723千円に対し、法人税等の支払61,536千円、仕入債務の減少55,730千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果、使用した資金は29,894千円でありました。これは、主として有形固定資産の取得による支出21,454千円、差入保証金の差入れによる支出38,430千円に対し、差入保証金の返還による収入25,244千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果、使用した資金は219,336千円でありました。これは、主として自己株式の取得による支出106,584千円、配当金の支払額112,751千円によるものであります。

(注) 当第3四半期連結累計期間は連結初年度に当たるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度の記載は行っておりません。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期(通期)の連結業績予想(連結・個別)につきましては、平成21年10月14日発表の「業績予想の集積に関するお知らせ」から変更ございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
 (平成21年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,499,356
受取手形及び売掛金	980,553
仕掛品	2,369
原材料及び貯蔵品	50,445
その他	269,154
貸倒引当金	△167
流動資産合計	2,801,711
固定資産	
有形固定資産	218,512
無形固定資産	162,775
投資その他の資産	
その他	491,839
貸倒引当金	△1,027
投資その他の資産合計	490,812
固定資産合計	872,100
資産合計	3,673,811
負債の部	
流動負債	
買掛金	144,607
未払法人税等	1,182
賞与引当金	111,189
役員賞与引当金	16,750
その他	484,899
流動負債合計	758,629
固定負債	
退職給付引当金	423,869
その他	230,939
固定負債合計	654,808
負債合計	1,413,437
純資産の部	
株主資本	
資本金	795,475
資本剰余金	647,175
利益剰余金	1,092,600
自己株式	△269,473
株主資本合計	2,265,777
評価・換算差額等	
為替換算調整勘定	△5,403
評価・換算差額等合計	△5,403
純資産合計	2,260,374
負債純資産合計	3,673,811

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	4,459,885
売上原価	4,138,210
売上総利益	321,675
販売費及び一般管理費	
給料及び賞与	99,671
賞与引当金繰入額	2,906
役員賞与引当金繰入額	16,750
退職給付引当金繰入額	1,499
その他	293,604
販売費及び一般管理費合計	414,432
営業損失(△)	△92,756
営業外収益	
受取利息	500
保険配当金	1,202
受取手数料	1,919
その他	755
営業外収益合計	4,377
営業外費用	
為替差損	4,404
事業所閉鎖損失	3,884
その他	589
営業外費用合計	8,877
経常損失(△)	△97,256
税金等調整前四半期純損失(△)	△97,256
法人税、住民税及び事業税	6,986
法人税等調整額	△23,321
法人税等合計	△16,334
四半期純損失(△)	△80,922

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	1,549,132
売上原価	1,456,048
売上総利益	93,083
販売費及び一般管理費	
給料及び賞与	30,446
賞与引当金繰入額	2,906
役員賞与引当金繰入額	5,250
退職給付引当金繰入額	473
その他	78,855
販売費及び一般管理費合計	117,932
営業損失(△)	△24,848
営業外収益	
受取利息	102
為替差益	1,555
保険配当金	1,202
受取手数料	602
その他	427
営業外収益合計	3,890
営業外費用	
自己株式取得費用	93
その他	11
営業外費用合計	104
経常損失(△)	△21,062
税金等調整前四半期純損失(△)	△21,062
法人税、住民税及び事業税	2,325
法人税等調整額	△5,409
法人税等合計	△3,084
四半期純損失(△)	△17,978

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△97,256
減価償却費	47,801
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△41
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△103,990
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	21,738
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,250
受取利息	△500
為替差損益 (△は益)	885
売上債権の増減額 (△は増加)	231,723
たな卸資産の増減額 (△は増加)	21,654
仕入債務の増減額 (△は減少)	△55,730
前受金の増減額 (△は減少)	24,393
預り金の増減額 (△は減少)	41,596
その他	15,425
小計	142,449
利息の受取額	539
法人税等の支払額	△61,536
法人税等の還付額	8,386
営業活動によるキャッシュ・フロー	89,838
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△21,454
差入保証金の差入による支出	△38,430
差入保証金の回収による収入	25,244
その他	4,745
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,894
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△106,584
配当金の支払額	△112,751
財務活動によるキャッシュ・フロー	△219,336
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,520
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△160,912
現金及び現金同等物の期首残高	1,658,327
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,497,414

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	ソフトウェア・ソリューション事業 (千円)	フィールド・ソリューション事業 (千円)	ハードウェア・ソリューション事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,745,494	2,029,525	643,570	41,295	4,459,885	—	4,459,885
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	(—)	—
計	1,745,494	2,029,525	643,570	41,295	4,459,885	(—)	4,459,885
営業利益又は営業損失(△)	△199,151	291,024	154,618	△4,900	241,591	(334,348)	△92,756

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

前年同四半期にかかる財務諸表等

(注) 当第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期に係る四半期連結財務諸表は作成していませんが、参考までに提出会社における(要約)貸借対照表、(要約)四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書を記載しております。

(1) (要約) 貸借対照表

前事業年度末(平成21年3月31日)

科目	前事業年度末 (平成21年3月31日)
	金額(千円)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,596,972
受取手形及び売掛金	1,197,399
仕掛品	25,259
原材料	49,209
その他	228,595
貸倒引当金	△209
流動資産合計	3,097,227
固定資産	
有形固定資産	201,152
無形固定資産	14,591
投資その他の資産	
その他	563,867
貸倒引当金	△1,027
投資その他の資産合計	562,840
固定資産合計	778,584
資産合計	3,875,812
負債の部	
流動負債	
買掛金	214,778
未払法人税等	9,843
賞与引当金	215,180
役員賞与引当金	22,000
その他	326,901
流動負債合計	788,703
固定負債	
退職給付引当金	398,712
その他	99,572
固定負債合計	498,285
負債合計	1,286,988
純資産の部	
株主資本	
資本金	795,475
資本剰余金	647,175
利益剰余金	1,309,062
自己株式	△162,888
株主資本合計	2,588,823
純資産合計	2,588,823
負債純資産合計	3,875,812

(2) (要約) 四半期損益計算書

前第3四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

科目	前年同四半期 (平成21年3月期第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	4,459,290
II 売上原価	3,827,431
売上総利益	631,858
III 販売費及び一般管理費	505,325
営業利益	126,533
IV 営業外収益	8,900
V 営業外費用	35,462
経常利益	99,971
VI 特別損失	62,000
税引前四半期純利益	37,971
税金費用	37,042
四半期純利益	928

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

	前年同四半期 (平成21年3月期第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	37,971
減価償却費	41,038
貸倒引当金の増減額(減少:△)	500
賞与引当金の増減額(減少:△)	△75,423
退職給付引当金の増減額(減少:△)	21,983
役員賞与引当金の増減額(減少:△)	△5,750
投資有価証券評損益(益:△)	52,000
関係会社株式評価損	10,000
受取利息	△6,886
為替差損益(差益:△)	28,900
売上債権の増減額(増加:△)	△124,831
たな卸資産の増減額(増加:△)	38,970
仕入債務の増減額(減少:△)	△46,474
前受金の増減額(減少:△)	22,646
その他	255
小計	△5,098
利息の受取額	6,629
法人税等の支払額	△258,540
営業活動によるキャッシュ・フロー	△257,010
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△93,765
その他	△6,250
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100,016
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△85,046
自己株式の取得による支出	△62,686
財務活動によるキャッシュ・フロー	△147,732
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△27,236
V 現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△531,994
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,930,356
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,398,361